

報恩講をお勤めします

暑さ寒さも彼岸まで、と言いますが、今年は、彼岸花も咲くの忘れられるほどの異常な暑さが続きました。ようやく少し秋らしい気候になり、一週間遅れて慌てたように花をつける準備を始めたようです。

地球温暖化の影響なのか、経験したことがないような強さの台風が発生しています。それに伴って猛烈な雨が続いたことから、土砂崩れや河川の氾濫など、能登半島を中心に大きな被害が発生しました。元旦の大地震からの復興の最中に、再び自然災害に見舞われた方々のお気持ちは、想像を絶するものだと思います。一日も早く普段の生活が送れるよう願うと共に、心からお見舞いを申し上げます。



今年も報恩講の季節がやってきました。報恩講は、親鸞聖人のお徳をしのび、仏縁に会わせていただく法要です。報恩講は、親鸞聖人の三十三回忌にお勤めされたのが最初と言われていいます。以前は、本願寺の報恩講にあわせて一月に勤めていたそうですが、今は、十月から十二月頃にお勤めされるお寺が多いです。雪が多い地域では、春や夏に勤まる場所もあるようです。季節に関わらず、親鸞聖人が伝えてくださったみ教えに触れることが大切なのだと思います。みなさま、どうぞお参りください。

報恩講に先立って、十月十九日に「すすはき」をおこないます。みなさまにはご足労をおかけします。また、報恩講の前日には、お花たてと幕吊りなどの準備をおこないますので、役員さん、年行司さん、お手伝いいただける方、お世話さまですがよろしく願います。

報恩講の際に、「香り」の研究をされている方が、香りの採取に来られます。お寺の法要で、お香やお花などの香りが、どのように混ざり合って、人々の気持ちや暮らしにどんな影響があるのかを調べるそうです。本堂に何台かの機械を置いて測定するそうですので、ご協力をお願いいたします。

合掌

十月(神無月)

- 六日(土) 山科別院念仏奉仕
- 十三日(日) お講(十一時)
- 十九日(土) すすはき(別掲)
- 二一日(月) 南組門信徒講座
- 二五日(金) 幕吊り(午後一時)
- 二六日(土) 役員・年行司さん
- 二七日(日) 報恩講(別掲)

すすはき

10月19日(土)
朝8時半
よろしくお願います。

後期経常費 15,000円
お鏡代 2,000円
合計 17,000円
ご持参ください。

報恩講

- 十月二六日(土)
 - 午後一時三十分 大速夜
 - 午後七時三十分 お初夜
- 十月二七日(日)
 - 九時三十分 満日中
 - お取次 住職

本願寺新報に掲載されました

「秋の永代経・平和の集い」が本願寺新報に掲載されましたので紹介します。世界のあちこちで戦争や紛争が起きています。平和で安全な社会が訪れることを願っています。

平和の一步は互いを知ること

覚浄寺の永代経法要にあわせて、「平和のつどい」を開きました。戦没者を追悼し平和を考える集いを隣寺と交互で毎年つとめています。今年、ナイジェリア出身で豊郷町在住のステファン・セラボイさんを招き、母国のことや日本での暮らしについて聞きました。ナイジェリアではたたくさんの部族が違いを認め合い、力を合わせて平和な社会を作っているそうです。お互いを知り、好きになることが、平和への一步だと感じました。(覚浄寺住職)

—本願寺新報9月20日号—

平和の一步は互いを知ること



覚浄寺の永代経法要にあわせて、「平和の集い」を開きました。戦没者を追悼し平和を考える集いを隣寺と交互で毎年つとめています。今年、ナイジェリア出身で豊郷町在住のステファン・セラボイさんを招き、母国のことや日本での暮らしについて聞きました。ナイジェリアではたたくさんの部族が違いを認め合い、力を合わせて平和な社会を作っているそうです。お互いを知り、好きになることが、平和への一步だと感じました。(滋賀県豊郷町・安食真城/覚浄寺住職)



清浄光はインターネットでもお読みいただけます

世のなか 安穏なれ





お寺めぐり(福井 永平寺)

周りを山に囲まれた深山幽谷の地に、曹洞宗の大本山「永平寺」があります。世俗から離れ、厳しい修行をするための道場として道元禅師によって開かれました。

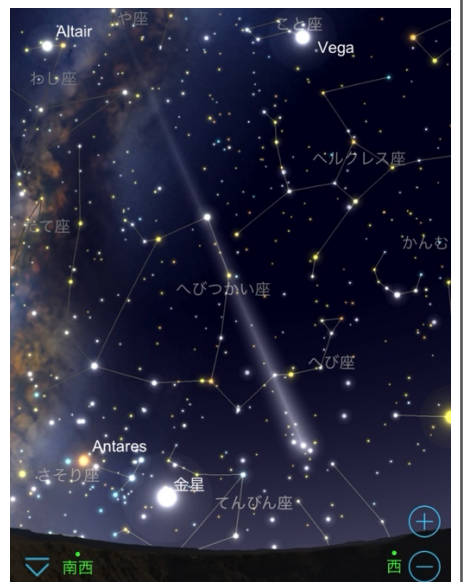
賑やかな門前町から門を入ると杉の巨木と苔むした広大な境内が迎え入れてくれます。参拝順路に従って七堂伽藍と呼ばれるお堂を進んで行きますと、廊下はピカピカで塵ひとつ落ちていません。毎日、修行僧の人たちが丁寧に掃除をされているのだと思います。永平寺では、座禅だけでなく食事やお手洗いや入浴にいたるまで、すべてが大切な修行とされているのだそうです。

私が参拝した日は、偶然にも戦没者と災害物故者の法要が勤められていましたので、勧められるまま私も法堂の畳に座ってお参りしました。鐘や銅羅の合図で法要が始まり、たくさんの僧侶が立ったり座ったり、お堂を回りながら読経をされる様子は、浄土真宗とは全然違うので、とても驚きました。

特に、お堂の後ろに、ご本尊(観音さま)に対峙するように祭壇があり、そこに戦争や自然災害による物故者の碑が安置されていて、仏さまに背中を向けてお焼香することに戸惑いました。思わず近くにお坊さんに「どっち向きにお昇降するのですか?」と聞いてしまいました。

法要の後は、若いお坊さんが、今日の法要の意味や永平寺の説明をしてくださいました。秋の爽やかな風がお堂を心地よく巡り、気持ちの良い時間でしたが、おそらく冬は寒さが厳しいのだらうなと思います。

参拝の後は、門前町をブラブラ。精進料理の一つである「胡麻豆腐」が名物のようで、私も一つお土産に購入しました。さらに胡麻豆腐ソフトクリームをペロリ。厳しい修行をしているお坊さんは一汁一菜の粗食をされているのに、申し訳ないと思いつつ、美味しくいただきました。



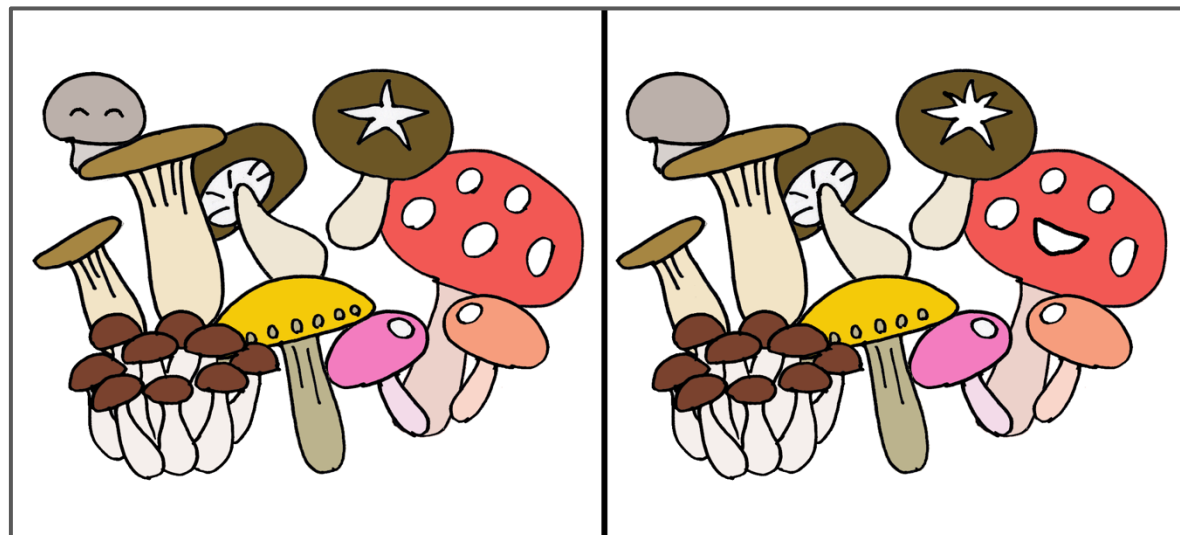
住職の星空案内

十月の中旬から下旬にかけて、夕方方の西の空に、ほうき星(彗星)が見えるかもしれません。紫金山・アトラス彗星と名付けられた彗星が、地球に近づいています。彗星は太陽系の外側にある「オールトの雲」とよばれる空間から太陽に引っ張られるようにやってきて、太陽に近づくにつれて、成分が溶け出して長い尾を作るのです。どんな尾を作るのか予測が難しく、夜空いっぱい巨大な尾が見えることもあれば、ほとんど見えないこともあります。果たして今回はどうなることやら。

太陽に近く、まだ空が完全に暗くなる前に見えるため、双眼鏡があれば見つけやすいかもしれません(双眼鏡で、絶対に太陽を見ないでくださいね)。

くいずクイズQWZ

秋といえばキノコの季節ですね。間違い探し。5か所見つけてね。



先月号の答え

- ① 竺
 - ② 西
 - ③ 僧
 - ④ 明
 - ⑤ 正
 - ⑥ 如
- 印度 ② 天之論家
中夏日域之高 ③
顯大聖興世 ⑤ 意
④ 如来本誓応機
釈迦 ⑥ 来楞伽山
為衆告命南天 ①

